

2025(令和7)年度
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部

一般選抜A日程 [現代人間学科・健康スポーツ学科]
試験選抜A日程 [看護学科]
一般選抜A日程 [保育学科]

学力検査 60分
【国語(現代の国語、言語文化)】
※古文・漢文を除く

一 次の問いに答えなさい。

問一 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

新たな仮説をテイシヨウする。

合格をキガンする。

権力にジュウゾクする。

バツグンの成績を誇る。

スマートフォンの世界的なフキユウ。

次の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

潜在的なリスク。

醜聞の絶えない人物。

都会の学校に赴任する。

慈愛に満ちた眼差し。

虚飾に満ちた生活。

空欄に漢字一字を書き、四字熟語、もしくは慣用句を完成させなさい。

ア 波乱 丈 イ 角を現す ウ 傍 無人 エ 氷山の 角 オ を射る

問四 次の意味を表す言葉として、最も適当なものを、後の中から一つ選び、記号で答えなさい。

1 古臭くてありふれているさま

ア 療養 イ 陳腐 ウ 空虚 エ 鮮烈 オ 傑出

2 自身の判断で主体的に行動するさま

ア 自立 イ 自律 ウ 捨身 エ 傲慢 オ 愚直

3 焦って苛立いらだつさま

ア 満喫 イ 本懐 ウ 羨望 エ 焦燥 オ 感嘆

4 とりあえず間に合わせて対処するさま

ア 便宜的 イ 断片的 ウ 慢性的 エ 形式的 オ 短絡的

5 若くして亡くなること

ア 教唆 イ 閑散 ウ 薰陶 エ 禁忌 オ 夭折ようせつ

二次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。字数制限のある問題については、句読点なども一字に数える。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

【著作権の関係で不掲載】

【著作権の関係で不掲載】

(福岡伸一「生命を考えるキーワード それは『動的平衡』」『科学は未来をひらく』(中学生からの大学講義) 3』より)

問一 傍線部(1)「なぜ生命は、変化しながら同一性を保つという、複雑で危うい方法をとっているのだろうか」とあるが、この問いに対する答えとして最も適当な箇所を本文中から一文で抜き出し、その最初の五字を答えなさい(句読点も字数に数える)。

問二 傍線部(2)「秩序」の対義語として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア カオス イ コスモス ウ カタルシス エ ジレンマ オ アポリア

問三 次の一文は、どこに入れるのが最も適当か。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

まだ人ではないから殺人には当たらないというわけだ。

ア 【一】 イ 【二】 ウ 【三】 エ 【四】 オ 【五】

問四 A に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 擬人化し イ 見立て ウ 依存し エ 委ね オ 託し

問五 B に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 優位性 イ 社会性 ウ 整合性 エ 客観性 オ 妥当性

問六 傍線部(3)「両側から縮めてくれている」とあるが、「両側」とは何を指しているのか。それぞれ漢字二字で抜き出しなさい。

問七 C に入れるのに最も適当な語句を、本文中から三字で抜き出しなさい。

問八 D に入れるのに最も適当な語句を、本文中から四字で抜き出しなさい（空欄Dは三箇所ある）。

問九 E に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 隔絶 イ 誤謬ごびやう ウ 陷穽かんせい エ 呪縛 オ 逆説

問十 筆者の考えと合致するものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 動的平衡は、「エントロピー増大の法則」が支配するこの宇宙において、生命が生きながらえるためにあみだした方法である。
イ 2009年に脳死が人の死であると定義づけられたことで、心臓・肺・脳の機能停止をもって死と判定することが困難になった。
ウ 花粉症の薬である抗ヒスタミン剤は体内に侵入した花粉を排出するが、その効果は徐々に弱まるため追加の服用が必要となる。
エ 花粉症の薬である抗ヒスタミン剤は、花粉を受容するレセプターに貼り付き、花粉そのものをブロックすることで症状を抑える。
オ 薬を飲めば飲むほど薬が必要になるが、麻薬は薬とは比較にならないスピードでどんどん量が増えてしまうため危険である。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。字数制限のある問題については、句読点なども一字に数える。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

【著作権の関係で不掲載】

【著作権の関係で不掲載】

【著作権の関係で不掲載】

(亀田達也^{たつや}『モラルの起源―実験社会科学からの問い』より)

問一

A

に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一意専心

イ 専売特許

ウ 金科玉条

エ 傲岸不遜

オ 一騎当千

問二

B

に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 世間話

イ 作り話

ウ ほら話

エ 喩^{たと}え話

オ よた話

問三 傍線部(1)「集団意思決定を行うための必要条件ではありません」とあるが、これを言い換えたものとして最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 集団の意思決定を行うにあたって、言語能力は不要である。
- イ 投票や意見表明は、集団の意思決定を行う際になくてもかまわない。
- ウ 集団の意思決定を行うにあたって、言語能力は必ずしも必要ではない。
- エ 投票や意見表明は、集団の意思決定を行う際にあったほうがよい。
- オ 言語能力は、集団の意思決定を行う妨げになることがある。

問四 傍線部(2)「8の字ダンス」とあるが、その目的は何か。次の空欄を埋める形で、六〇字以内で説明しなさい(句読点も字数に数える)。

伝えるため。

問五 X には、次のa～dが入る。その正しい順序として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- a いくつもの単の候補地を訪れ、比較したうえで自分が最適と考える候補地を選んで宣伝しているわけではないのです。
- b 私たちが会社の移転先を検討する場合、いくつもの候補を調べて比較したうえで、自分が最適と思う選択肢への支持を表明するでしょう。
- c しかもミツバチは、霊長類と比較したらまったく問題にならない、単純で小さい脳(マイクローブレイン)しかもっていません。
- d しかし、個々のミツバチが探索のために訪れる候補地は、ほとんどの場合にせいぜい一つか二つです。

- ア b ↓ d ↓ c ↓ a
- イ d ↓ a ↓ b ↓ c
- ウ b ↓ d ↓ a ↓ c
- エ d ↓ a ↓ c ↓ b
- オ b ↓ a ↓ c ↓ d

問六 C に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 一筋縄ではいかない イ 同じ穴の貉むじな ウ 手に余る エ 虎の威を借る狐きつね オ 三人寄れば文殊の知恵

問七 D に入れるのに最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい（空欄Dは二箇所ある）。

- ア 雪だるま イ 蜃気楼しんきろう ウ 五月雨さみだれ エ 雪崩なだれ オ 滝壺たきつぼ

問八 傍線部(3)「情報カスケードが生み出す可能性のあるエラーの連鎖を、ミツバチの集団意思決定はどのように防いでいるのでしょうか」とあるが、この問いに対する答えとして最も適当な箇所を本文中から六〇字以内で抜き出し、その最後の五字を答えなさい（句読点も字数に数える）。

問九 次の一文は、どこに入れるのが最も適当か。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

つまり、ほかのハチたちの宣伝に影響されて（Ⅱ同調して）訪れた候補地であっても、その候補地が巣としてどれだけ良いかに関する評価は、自分の目だけを信じて行うということです。

- ア 【一】 イ 【二】 ウ 【三】 エ 【四】 オ 【五】

問十 本文の内容に合致するものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 個々のメンバーの意思を集団全体の行動選択にまとめあげる集団意思決定は人間と社会性昆虫のような一部の生物に見られる。
- イ ヒトとミツバチは生物種として驚くほど似通っており、特に集団意思決定における行動の仕組みは驚くほど似通っている。
- ウ ある候補地を訪れたミツバチの数が一定数を超えると新しい巣に移るのは、人間が多数決で意思決定を行うのと同じである。
- エ ミツバチが集団で下す意思決定は、論理的思考の帰結ではなく本能的なものであり、客観的に優れた選択でないことも多い。
- オ ヒトの社会行動とミツバチの集団意思決定には類似する点も多いが、ヒトの社会行動を考えるうえであまり役に立たない。

2025(令和7)年度
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部

一般選抜A日程 [現代人間学科・健康スポーツ学科]
試験選抜A日程 [看護学科]
一般選抜A日程 [保育学科]

学力検査 60分
【国語(現代の国語、言語文化)】
※古文・漢文を除く

※出題意図についての質問・照会には回答しません。

学力検査では、専門分野を学ぶための基礎学力をはかるために問題の意図を理解し、自分の考えを論理的にまとめるための「読解力・知識・思考力・判断力」を問う問題を出題しています。

2025(令和7)年度
 聖カタリナ大学
 聖カタリナ大学短期大学部

一般選抜A日程 [現代人間学科・健康スポーツ学科]
 試験選抜A日程 [看護学科]
 一般選抜A日程 [保育学科]

模範解答

問八	問五	問四			三 問一	問九	問七	問四	二 問一	問四	問三	問二	一 問一
が	ウ	の	の	ダ	イ	才	機	イ	生	1	ア	ア	ア
生		長	あ	ン			械		命	イ	万	せん	提
ま	問六	さ	り	ス		問十	論	問五	は	2	イ	さい	唱
れ	オ	と	か	の	問二	ア		ウ	は	イ	頭	いて	イ
る		熱	や	方	工		問八	問六	、	3	ウ	き	イ
	問七	心	巢	向			ウ	脳	自	工	若	い	祈
問九	ア	さ	の	と	問三			問六		4	エ	ぶん	願
工		に	候	太	ウ		動	問六	問二	ア	一	ウ	ウ
		よ	補	陽			的	問六	ア	5	オ	ふ	従
問十		っ	地	が			平	問六	問三	才	的	にん	属
ウ		て	の	作			衡	問六	問三			エ	エ
		、	方	る				問六	問三			じ	抜
		候	向	角				問六	問三			あい	群
		補	を	度				問六	問三			オ	オ
		地	伝	に				問六	問三			き	普
		の	え	よ				問六	問三			よ	及
		質	、	っ				問六	問三			し	
		を	ダ	て				問六	問三			ょ	
			ン	、				問六	問三			く	
			ス	蜜				問六	問三				
								問六	問三				
								問六	問三				